

芝浦工業大学大学院 理工学研究科修士課程

秋期一般入試 / 秋期社会人特別入試 募集要項

2022 年秋期入学者対象

※当募集要項は、国際理工学専攻を除いた7専攻の募集要項です。

※国際理工学専攻の受験希望者は、英語版の募集要項掲載ページより「General Entrance Examination Selection」の募集要項をダウンロードしてください。

※当募集要項に掲載されている入試は、「日本語で受験される方」向けのものになります。英語での書類作成や口述試験を希望される方は、「Special Selection for Foreign Students (SSFS)」を受験してください。

《目次》

【秋期一般入試】	
Ⅰ. 出願について	…p. 2
Ⅱ. 出願資格の認定について（該当者のみ）	…p.15
Ⅲ. 教育研究分野および教員一覧について	…p.16
Ⅳ. 在留資格「留学」の取得について	…p.16
【秋期社会人特別入試】	
Ⅰ. 出願について	…p.18

【個人情報の取り扱いについて】

願書提出時に提供いただく「氏名、住所（連絡先）、その他の個人情報（以下、個人情報）」は、選考ならびに進学の決定通知・入学手続きの連絡を行うために使用いたします。

なお、申請した方の上記個人情報につきましては、入学後は学修指導、緊急連絡の他、学生生活の支援に必要が生じた場合に使用します。

【個人情報の管理・保管について】

本学は、申請者の方々から提供を受けた個人情報を学校法人芝浦工業大学個人情報保護規程に従い、厳重な管理体制の下で管理・保管をし、申請者の個人情報が第三者に漏洩しないようにいたします。

【秋期一般入試】

I. 出願について

1. 専攻名称／募集定員／学位名称

研究科名	専攻名	学位名称	募集定員
理工学研究科	電気電子情報工学専攻	修士（工学）	110名
	材料工学専攻		40名
	応用化学専攻		30名
	機械工学専攻		85名
	システム理工学専攻	修士（システム理工学）	75名
	国際理工学専攻	修士（理工学）	10名
	社会基盤学専攻	修士（工学）	25名
	建築学専攻	修士（工学）または修士（建築学）	110名

※募集定員は、各試験単位ではなく2022年度秋期入学者全体での定員です。

※各専攻の概要やアドミッションポリシーは、本学公式ウェブサイトよりご参照ください。

トップページ > 学部・大学院 > 大学院

<https://www.shibaura-it.ac.jp/faculty/graduate-school/index.html>

※国際理工学専攻の受験希望者は、英語版の募集要項ページより「General Entrance Examination Selection」のApplication Guidelineをご覧ください。

2. 出願資格

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2022年9月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び2022年3月末までに学位取得見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2022年9月末までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者または2022年9月末までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上（医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する博士課程への入学については5年）の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2022年9月末までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）及び2022年9月末までにそれに該当する見込みの者
- (9) その他、理工学研究科委員会において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（注2）

（注1） どの出願資格を満たすか不明な場合は、必ず事前にご相談ください。

（注2） (1)～(8)のいずれの出願資格も満たさない場合は、正式な出願に先んじて「出願資格審査」を受けていただきます。その「出願資格審査」に合格し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、出願資格(9)にて正式に出願することができます。

詳細は「II. 出願資格の認定について（該当者のみ）」のページをご参照ください。

3. 出願の手順

- 1) 自分が指導を受けたい教員に連絡を取り、面談を行う。受験の希望や研究内容について話し合い、入学後の研究室受入の内諾を得る。
- 2) 募集要項をダウンロードし、熟読する。
- 3) 必要な書類を準備し、募集要項の指示の通りにデータ化する。
- 4) オンライン出願システム受付期間内に必要事項を入力または提出書類のアップロードを行う。
- 5) オンライン出願システム受付期間内に、指導を受けたい教員へ受入内諾書の作成依頼を行う。
- 6) (在学生以外) オンライン出願システム受付期間内に、推薦者へ推薦状の作成依頼を行う。
※5)、6)は日時に余裕を持って行うこと。
- 7) オンライン出願システム受付期間内に入学検定料を支払い、不備がないかをよく確認したあと、出願を確定させる。

< 諸注意 >

志願者は、出願の前にまず自分が指導を受けたい教員に連絡を取って面談を行い、合格・入学後の研究室受け入れの内諾を得ることが必須となります。指導を受けたい教員の連絡先が分からない場合は、下記の資料を添付し、担当部署までメールにて取り次ぎの依頼をしてください。

(そのまま教員へ転送できるように文面を作成してください)

1. 当該の教員からの指導を希望する理由 (メール文面への記載でも可)
2. 経歴書 (学歴やこれまでの研究概要など / 様式自由)
3. 研究計画書 (様式自由)
4. 成績証明書 (スキャンデータ)
5. 卒業(見込)証明書 (スキャンデータ)

教員とのやりとりには時間を要するため、新規の取り次ぎ依頼は【5月24日(火)12:00】を〆切といたします。これ以降に寄せられた取り次ぎ依頼については、対応いたしかねますのでご承知おきください。

※教員からの受入内諾がない状態での出願は受理できません。

※教員の都合によっては、この期日前に連絡したとしても面談の設定ができず、受入許諾が得られない場合があります。

※建築学専攻の一部部門は、出願受付期間が終了する15日前までに教員との事前面談が必要なためご注意ください。

(詳しくは「7. 試験内容について」をご確認ください)

取次依頼連絡先:

芝浦工業大学 大学院課 <daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp>

4. 入試日程／時間／実施場所

- ・ 選考は、書類審査および口述試験により行います。
- ・ 合否判定は、書類審査および口述試験の結果の総合点により行います。出願した方は、書類審査における評価に関係なく、口述試験を受験していただきます。
- ・ 口述試験の実施日時については、出願受付後に面接順を設定した後、**6月24日(金)**までに詳細を通知いたします。日時の希望には応じられませんので、あらかじめご承知おきください。
- ・ **今年度においては、口述試験はすべてオンラインで行います。受験者の方には、オンラインで受験いただくため、PC、通信環境、カメラ、マイク、静謐な環境の確保などをご準備いただくようお願いいたします。**

専攻名	口述試験実施日	口述試験実施キャンパス
電気電子情報工学専攻	2022年7月1日(金)	Web 会議サービス zoom を使用し、オンラインにて実施 ※プレゼンテーションを指示されている専攻・部門は、zoom の画面共有機能を使用して発表する
材料工学専攻		
応用化学専攻		
機械工学専攻		
システム理工学専攻		
社会基盤学専攻		
建築学専攻		

5. 入試検定料

入学検定料として、35,000 円をお支払いいただきます。納入方法はコンビニエンスストア払いまたはクレジットカード払いとなり、それ以外の手段による入金を受け付けることができません。

申請料納入にかかる手数料は、申請者（納入者）ご負担でお願いいたします（コンビニエンスストア払い、クレジットカード払いそれぞれの手数料の金額は、TAO 上で申請料をお支払いする際にご確認ください）。

下記に該当する方は入学検定料が 15,000 円になります。この方に限り検定料の支払いは現金での受付となりますので、TAO を使用した支払いは行わず、必ず事前に大学院課にご相談ください。

・本学学生で「2022 年度入学修士課程一般（一次）入試」「2022 年度春入学修士課程外国人留学生特別入試」「2022 年度春入学修士課程一般（二次）入試」を受験しており、今回再度受験をする方

※一度納入された申請料は、理由如何によらず一切返金できませんので、ご了承の上で手続きをお願いいたします。

6. 出願書類一覧

出願書類は下記一覧の通りです。

専攻や部門によっては、別途提出物や準備物を指示する場合があります。専攻からの個別の指示については、次項「**7. 試験内容について**」に全て記載されていますので、必ず併せてご確認ください。

申請にあたっては、オンライン出願システム「[The Admissions Office \(TAO\)](#)」により行います。使用方法などの詳細は、募集要項掲載ページにアップロードされている【[「The Admissions Office \(TAO\)」使用マニュアル](#)】を参照してください。

■オンライン出願システム受付期間＜全専攻共通＞

2022年5月2日(月)12:00 ～ 2022年5月31日(火)16:00（厳守）

※期間外の出願は一切受け付けられません。

※マニュアルをよく読み、上記期間内に全ての入力を済ませ、出願を完了させてください。出願完了前に上記受付期間が終了した場合、手続きの途中であっても、出願は受理されません。（システム上で出願の完了処理ができなくなります）

※全ての情報が入力されていても、出願完了のボタンが押されていない場合、出願は不受理となりますのでご注意ください。

<芝浦工業大学正規在学生の TOEIC スコアについて>

芝浦工業大学正規在生については、S*gsot Portfolio に登録された TOEIC スコアの最高点を抽出して使用するため、TAO を利用したスコアの提出は不要です。自身の TOEIC スコアが S*gsot Portfolio に登録されていることを、オンライン出願システム受付期間が終了するまでに必ず確認してください。スコアの登録が 1 件もない場合、出願を受理することができません。

なお、本学の研究生・科目等履修生・特別聴講生は、本学正規在学生ではありません。別途、TOEIC等の英語テストのスコアシートのスキャンデータ提出が必要になりますので、ご注意ください。

■出願書類一覧（専攻共通）

出願書類 <提出対象者>	芝浦工業 大学正規 在学生	芝浦工業 大学正規 在学生以外	形式	提出方法および要件
①入学願書 <全員提出>	○	○	TAOへ 直接入力	<p>★TAOの所定フォーム「入学願書」へ直接入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学歴や職歴等、「入学願書」に設けられた欄に記載しきれない場合は、別途自由様式にまとめPDF化したものを、TAOの所定フォーム「提出書類」の「その他書類」に提出すること。
②顔写真 <全員提出>	○	○	JPG	<p>★TAOの所定フォーム「入学願書」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦4cm*横3cm、出願3ヶ月以内に撮影したカラー写真（上半身・正面・無帽・枠なし） ・合格者が入学する際の学生証写真としても使用する
③入学検定料 (¥35,000) <全員納入> ※本学学生で2022年度入試複数回受験者は¥15,000	○	○	-	<p>★TAOの「受験料支払い」メニューより手続きを行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下に該当する方は入学検定料が15,000円になります。この方に限り検定料の支払いは現金での受付となりますので、TAOを使用した支払いは行わず、必ず事前に大学院課にご相談ください。 ・本学学生で「2022年度入学修士課程一般（一次）入試」「2022年度春入学修士課程外国人留学生特別入試」「2022年度春入学修士課程一般（二次）入試」を受験しており、今回再度受験をする方 ・決済手段はクレジットカード決済またはコンビニエンスストア決済の2種から選択すること。 ・学内の証明書発行機(パピルスメイト)による納入は不可とする。 ・システムへの反映に時間を要することがあるため、出願日の12:00までに納入を済ませること。 <p>※申請料納入にかかる手数料は、納入者のご負担をお願いします。</p>
④成績証明書 <芝浦工業大学正規 在学生以外提出>	-	○	PDF (スキャンデ ータ)	<p>★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・学士学位を取得(見込み含む)した課程の証明書を提出すること。 ・編入学者の場合は、編入学前の証明書も提出すること。 ・成績証明書と卒業(修了)証明書が複合となっているものを提出することも可。 <p>この場合、④成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、⑤は空欄でかまわない。</p>

提出書類一覧は次のページにも続きます。

出願書類 ＜提出対象者＞	芝浦工業大 学正規在学 生	芝浦工業 大学正規 在学生以外	形式	提出方法および要件
⑤卒業(見込)証明書 ＜芝浦工業大学正規 在学生以外提出＞	-	○	PDF (スキャンデー タ)	<p>★TAO の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・学士学位を取得した課程の証明書を提出すること。 ・成績証明書と卒業(修了)証明書が複合となっているものを提出することも可。 <p>この場合、④成績証明書の提出フォームに 1 部アップロードすれば良く、⑤は空欄でかまわない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」による学士学位を授与された者は、学位授与証明書を提出すること。学位授与申請中の場合は、申請受理証明書を提出すること。 ・海外の大学など、卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、どちらも提出すること。 ・学士学位の他にいずれかの大学で修士学位をすでに取得している場合は、TAO の所定フォーム「提出書類」の「その他書類」欄にアップロードすること。
⑥志望理由書 ＜全員提出＞	○	○	PDF (指定様式あり)	<p>★TAO の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集要項掲載ページに掲載している指定様式を使用すること。 ・A4 サイズ 1 枚以内で作成すること。 ・日本語で受験する場合は、日本語で作成すること。
⑦研究計画書 ＜全員提出＞	○	○	PDF (指定様式あり)	<p>★TAO の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集要項掲載ページに掲載している指定様式を使用すること。 ・A4 サイズ 2 枚以内 (図表含む) で作成すること。 ・日本語で受験する場合は、日本語で作成すること。 <p>＜応用化学専攻志願者のみ＞</p> <p>卒論研究計画書 (研究の背景、目的、意義、今後の研究計画について図表を含め A4 用紙 2 枚にまとめたもの) を作成し、PDF ファイルをアップロードすること</p> <p>募集要項掲載ページに掲載している指定様式を使用すること。</p>
⑧受入内諾書 ＜全員提出＞	○	○	TAO へ 直接入力	<p>★TAO の「依頼書類」フォームより手続きしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身が指導を希望している芝浦工業大学大学院の教員を選択し、受入内諾書の作成依頼を送信すること。 ・指導を希望する教員が「担当教員」の場合、「指導教員」「担当教員」両方から受入内諾書を得ること。(計 2 件作成依頼を送信すること) ・オンライン出願システム受付期間に作成が終了するよう、日数に余裕を持って依頼すること。
⑨推薦状 ＜芝浦工業大学正規 正課在学生以外提出＞	-	○	TAO へ 直接入力	<p>★TAO の「依頼書類」フォームより手続きしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・推薦者のメールアドレスを入力し、推薦状の作成依頼を送信すること。 ・推薦者は、出身大学の指導教員や、勤務先の上長など、出願者のことを熟知する者とする。 ・オンライン出願システム受付期間に作成が終了するよう、日数に余裕を持って依頼すること。

提出書類一覧は次のページにも続きます。

出願書類 <提出対象者>	芝浦工業大学正規在学 生	芝浦工業大学正規 在学学生以外	形式	提出方法および要件
⑩英語テストの スコアレポート <芝浦工業大学正規 正課在学学生以外提出>	△ (S*gsot Portfolio へ の登録のみ)	○	PDF (スキャンデー タ)	<p>★公式スコアレポートのスキャンデータを「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <p>・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。</p> <p>・TOEIC® L&R、TOEIC® S&W、TOEFL® iBT、IELTS Academic、GTEC (社 会人・大学生向け/4 技能)のいずれかのスコアを提出すること。</p> <p>・公式に発行されるスコアレポートのスキャンデータを提出すること。 (PC 画面のスクリーンショット等は不可)</p> <p>・IP テストのスコアを使用することはできない。(芝浦工業大学で受験したもののみ受付可)</p> <p>・外部で受けたスコアは過去 5 年以内に限る。</p> <p><芝浦工業大学正規在学在校生のみ></p> <p>※芝浦工業大学正規在学在校生については、S*gsot Portfolio に登録された TOEIC スコアの最高点を抽出して使用するため、TAO を利用したスコアの提出は不要です。S*gsot Portfolio に自身の TOEIC スコアが登録されていることを、オンライン出願システム受付期間が終了するまでに必ず確認してください。スコアの登録が 1 件もない場合、出願を受理することができません。</p>
⑪在留カードおよび パスポートのコピー <日本国籍以外の者の み>	△ (日本国籍以 外の者のみ)	△ (日本国籍以 外の者のみ)	PDF (スキャンデー タ)	<p>★TAO の所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <p><パスポート></p> <p>・顔写真が印刷されたページのスキャンデータを提出すること。</p> <p><在留カード></p> <p>・両面のスキャンデータを提出すること。</p>
⑫確認事項チェック表 <全員提出>	○	○	TAO へ 直接入力	<p>★TAO の所定フォーム「確認事項チェック表」へ直接入力してください。</p> <p>・当該フォームに表示される確認事項を読み、同意のチェックマークをつけて提出すること。</p>

※アップロードにより提出する書類については、すべて原本の提出は不要ですが、状況に応じて入学時に原本での提出を求める場合があります。あらかじめご承知置きください。

《注意》

- ・ 出願内容に不備があった場合は、出願が受理されないことがあります。
- ・ **記述言語の指示があるもの以外の書類は、「日本語」または「英語」で記述されたもの以外は一切受け付けません（推薦状含む）。**その他の言語で記述された書類しか用意できない場合は、公証を受けた翻訳を用意し、原語のものと同併せて TAO へアップロードしてください。
- ・ 一度提出された書類の修正や差替については一切対応いたしません。
- ・ 出願後は、出願内容（入学年月、専攻、指導教員等）の変更は一切できかねます。
- ・ 出願の際に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

7. 試験内容について

専攻ごとの試験形式・内容は下記の通りです。

システム理工学専攻、建築学専攻は、さらに部門によって指示があります。自身がどの部門に該当するかは、「Ⅲ. 教育研究分野および教員一覧について」に掲載されている教員一覧において、自身が指導を希望する教員が属する部門により決まります。

■電気電子情報工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（15分）と質疑応答（10分）の計25分で行います。
準備物	プレゼンテーション資料を作成し、口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。
出題内容	プレゼンテーションは、下記の内容を説明すること。 (1) 大学院進学を志望する理由：3分程度 (2) 卒業研究の内容：9分程度 (3) 進学後の研究計画：3分程度 なお、卒業研究を実施していない場合は、進学後の研究実施能力を示すことができる内容とすること。 また、研究計画には、先行研究に関する文献や論文などの調査結果を含むこと。
その他	なし

■材料工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（10分）の計15分で行います。
準備物	プレゼンテーションでは、「志望動機」「卒業研究の内容」「進学後の研究計画」の3点について説明すること。パワーポイント等によるプレゼンテーションを希望する場合は、準備しておくこと。
出題内容	上記のプレゼンテーションに対する質疑を行う。
その他	なし

■応用化学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、パワーポイントを用いる口頭発表（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。
準備物	卒論研究に関する研究結果を中心にパワーポイントを作成し、(枚数は自由、発表が5分以内に収まるように作成)口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。
出題内容	卒論研究に関する結果・考察を中心としたパワーポイント発表5分。研究の背景を中心とした基礎学力を問う質問、および研究内容や志望動機に関する質疑応答15分。合計20分。
その他	なし

■機械工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション(5分)、質疑応答(7分)の計12分で行います。
準備物	下記出題内容についてパワーポイントによるプレゼンテーションを作成し、口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。 進学については、配属を希望する研究室の指導教員と事前に相談しておくことが望ましい。
出題内容	「志望動機」「卒業研究の内容」「進学後の研究計画」についてプレゼンテーション形式で説明すること。 コミュニケーション能力・マネジメント能力および工学倫理に関する意識も評価するので、プレゼンテーションにはこれらに関連する内容も含めること。 質疑応答では、専門分野について研究基礎力・専門知識を問う質問をする場合がある。
その他	なし

■システム理工学専攻

口述試験 実施形式	パワーポイント等によるプレゼンテーション（5分）と質疑応答（10分）の計15分で行う。
準備物	進学希望の研究室の教員から指示があった場合のみ準備する。
出題内容	<p>【機械制御部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「進学後の研究計画」をテーマとする。パワーポイントに「大学院での週のスケジュール案」（何時から何時までで大学で研究する）も入れること。</p> <p>【電子情報部門】 プレゼンテーションは「総合研究についてのこれまでの成果」「今後の研究計画」をテーマとする。プレゼンと質疑応答により、研究基礎力、専門能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を評価する。</p> <p>【社会・環境部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「現在取り組んでいる研究の内容」「進学後の研究計画」をテーマに実施し、質疑応答を含めて本人の大学院への適性を客観的に評価する。</p> <p>【生命科学部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「現在取り組んでいる研究の内容」「進学後の研究計画」をテーマに実施し、質疑応答を含めて本人の大学院への適性を客観的に評価する。</p> <p>【数理学部門】 プレゼンテーションは、「志望動機」「現在勉強・研究している数理学の内容」「進学後の研究計画」「修了後の展望」をテーマとする。質疑応答は、発表内容の理解度の確認を中心に行う。</p>
その他	・口述試験は、海外出張中や留学中の教員の研究室に所属する学生に対しては、できるだけ現地との時差を考慮した時間帯に行う。

■社会基盤学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（10分）と質疑応答（10分）の計20分で行います。
準備物	プレゼンテーションは、パワーポイントを使用して実施します。
出題内容	プレゼンテーションでは、卒業論文の研究内容および修士論文の研究計画について説明してください。
その他	なし

■建築学専攻

口述試験 実施形式	<p>建築学専攻では、7部門を下記の6つの入試区分に分けて、口述試験を実施します。各入試区分の実施形式は次の通りです。</p> <p>【1.建築計画部門、建築史部門】 口述試験は、プレゼンテーション（7分）と質疑応答（13分）の計20分で行います。</p> <p>【2.建築設計部門】</p>
--------------	--

	<p>口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。</p> <p>【3.環境工学部門】</p> <p>口述試験は、プレゼンテーション（10分）と質疑応答（10分）の計20分で行います。</p> <p>【4.建築構造部門】</p> <p>口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。</p> <p>【5.生産工学部門】</p> <p>口述試験は、プレゼンテーション（8分）と質疑応答（12分）の計20分で行います。</p> <p>【6.都市計画部門】</p> <p>口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。</p>
準備物	<p>【1.建築計画部門、建築史部門】</p> <p>6月20日（月） - 6月26日（日）に、自身の卒業研究の内容をまとめた説明資料1部をPDF(10MB以下)の形式にして、以下のメールアドレスに提出してください。提出するPDFのファイル名は、「説明資料（建築計画部門、建築史部門）受験番号氏名」としてください。</p> <p>提出先メールアドレス：gs-kentiku-office@sic.shibaura-it.ac.jp</p> <p>【2.建築設計部門】</p> <p>指導を希望する教員と事前面談する際、本大学院指定の志望理由書及び研究計画書に記載したものとポートフォリオ①をインターネット・オンラインの画面でお示しください。口述試験ではポートフォリオ②をインターネット・オンラインの画面でお示しください。</p> <p>ポートフォリオ①（PDF10MB以内）事前面談用。書式自由（2作品以上掲載のこと）。</p> <p>ポートフォリオ②（PDF10MB以内）口述試験用。A3片面10枚以内（2作品以上掲載のこと）。</p> <p>【3.環境工学部門】</p> <p>口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。卒業研究概要資料（書式は自由）およびプレゼンテーション用データを希望指導教員へ事前に提出してください。提出期日は指導教員の指示に従ってください。</p> <p>【4.建築構造部門】</p> <p>口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。口述試験当日までにプレゼンテーション用データを用意してください。具体的な実施方法は後日指示します。</p> <p>【5.生産工学部門】</p> <p>事前面談の際に持参する書類については、教員から指示します。</p> <p>口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。口述試験当日までにプレゼンテーション用データを用意して下さい。</p> <p>【6.都市計画部門】</p> <p>事前面談の際に準備しておくべき書類については、指導を希望する教員から指示します。口述試験時のプレゼンテーションは、パワーポイントを使用して実施します。当該データを口述試験前日の昼12時までに、電子メールもしくはオンラインストレージ等を用いて、指導を希望する教員へ送付しておくこと。また受験者は、口述試験時に自分のパソコン上でファイルを開いておくこと。</p>
出題内容	<p>口述試験では、試問、プレゼンテーションおよび質疑応答をもとに、研究基礎力、専門能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、マネジメント能力を評価します。</p>

	<p>【1.建築計画部門、建築史部門】 口述試験では志望理由書、研究計画書、卒業研究に関する説明資料の概要を説明いただき、質疑応答を行います。</p> <p>【2.建築設計部門】 プレゼンテーションは、志望理由書、研究計画書、ポートフォリオ②に関して行い、それに対する質疑応答を行います。</p> <p>【3.環境工学部門】 志望理由、卒業研究、修士研究計画に関してプレゼンテーションを実施します。その後、特に卒業研究の成果や修士研究の計画内容について質疑応答を行います。加えて、環境工学分野における一般常識に関する質疑応答を行います。</p> <p>【4.建築構造部門】 プレゼンテーションでは、志望理由、修士論文での研究計画、卒業研究について説明してください。上記内容及び、建築構造分野における一般常識に関する質疑応答を行います。</p> <p>【5.生産工学部門】 プレゼンテーションでは、以下の内容について説明して下さい。 ・卒業研究の研究内容：研究の背景・目的、研究の手法、研究成果と今後の課題 ・修士研究の研究計画：卒業研究からの発展・違い（卒業研究と異なる場合は研究の概要） 卒業研究および修士研究の研究内容・計画および関連する内容について質疑応答を行います。</p> <p>【6.都市計画部門】 プレゼンテーションでは、志望理由、卒業論文（または卒業設計）の内容、および修士論文の研究計画について説明してください。上記内容及び、都市計画分野における基礎知識を問う質疑応答を行います。</p>
その他	<p>志願者は出願前に、指導を希望する教員にメールでアポイントメントを取り、受験・研究内容等の相談（事前面談）をして、当該教員から出願に対する承認をもらう必要があります。入試区分によって、事前面談時、口述試験時に持参するものが異なりますので、十分に注意してください。</p> <p>【1.建築計画部門、建築史部門】 なし</p> <p>【2.建築設計部門】 第1希望の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する15日前までに、インターネット・オンラインで行ってください。第1希望の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する15日前までに完了しないと、当該教員から出願に対する承認をもらえない場合があります。願書には、指導を希望する教員を1名だけ記入してください。口述試験で示すポートフォリオ②は、事前面談で受けた質疑や指摘を反映し、ポートフォリオ①の内容に修正を加えたものとしてください。</p>

	<p>【3.環境工学部門】 指導を希望する第1及び第2希望（第2希望がある場合のみ）の教員と事前面談を行う際、本大学院指定様式の志望理由書と研究計画書、および卒業研究概要資料を準備してください。</p> <p>【4.建築構造部門】 指導を希望する教員との事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。</p> <p>【5.生産工学部門】 指導を希望する教員との事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。</p> <p>【6.都市計画部門】 指導を希望する第1及び第2希望（第2希望がある場合のみ）の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する15日前までに、対面またはオンラインで行ってください。事前面談を出願受付期間が終了する15日前までに完了しないと、当該教員から出願に対する承認をもらえない場合があります。事前面談の際に準備しておくべき書類については、指導を希望する教員から指示します。</p>
--	--

8. 受験番号について

オンライン出願システム受付期間終了後に受験番号を採番し、その結果をオンライン出願システム内のメッセージフォームへ通知します。

9. 合格発表

2022年7月14日（木）13:00にオンライン出願サイトTAO上の個人ページにて発表

※電話やメール等での合否に関する問い合わせには応じられません。

※合格後に住所変更をした場合や、一時帰国または長期留学などにより日本を離れる場合は、速やかに大学院課までご連絡をお願いいたします。

10. 入学手続金納入および入学手続きについて

合格者に対しては、TAOから入学手続の詳細を通知します。

郵送での書類送付は行いませんのであらかじめご了承ください。

大学院入学にあたっては、入学手続の際に保証人と学費納入者等を立てていただくこととなりますので、大学院入学前のTAO等からの案内は、必ず申請者から保証人や学費納入者に対して情報共有されるようお願いいたします。

【入学手続金】

(1) 納入額 本学卒業生 602,500円 本学卒業生以外 862,500円 ※修士1年次の最初の学期の学費に充当します。

(2) 納入手続き期日 **2022年8月31日（水）** ※納入期限が過ぎた場合は、入学辞退として扱います。

(3) 納入先 みずほ銀行 浜松町支店 普通 3271331

学) 芝浦工業大学 大学院入学金口 (ガク シバウラコウギョウダイガク ダイガクイン ニュウガクキングチ)

※振込の際の注意事項

①振込依頼人名は、**志願者本人の氏名**でお願いします。

②ATMから納入される場合、**依頼人名は「受験番号」「志願者カナ氏名」の順に入力してください。** (例: 006001 シバ

ウラタロウ)異なる依頼人名でお振り込みいただいた場合、ご本人確認が取れないことがあります。

③窓口から振り込む場合は、TAO からお送りする入学手続金納入先口座情報を手元に準備し、銀行指定の振込依頼書に転記の上、振り込んでください。

④振込手数料は、本人負担となります。

【入学手続き】

9月下旬に入学手続きおよび各種ガイダンスを予定しています。詳細は合格発表後に改めてご案内いたします。

なお、入学手続きが完了するまでは、TAO のメッセージフォームにより合格者へ継続して連絡することがあります。合格後であっても、芝浦工業大学から送信されたメッセージは全て確認するようにご注意ください。

1 1. 学費等について

【学費】

費目	全専攻					
	一年次			二年次		
	入学時*1	春期	計	秋期	春期	計
入学金	(260,000)	—	(260,000)	—	—	—
授業料	510,500	510,500	1,021,000	560,500	560,500	1,121,000
維持料	92,000	92,000	184,000	92,000	92,000	184,000
計	602,500 (862,500)	602,500	1,205,000 (1,465,000)	652,500	652,500	1,305,000

*1 上記「入学時」に記載されている金額を、入学に先立って入学手続金としてお振り込みいただきます。

*2 本学卒業生の入学金は、免除されます。()内は本学卒業生以外の方にお支払いいただく金額です。

【後援会費】

費目	一年次後期	二年次前期
入会金	(10,000)	—
会費	15,000	15,000
計	15,000 (25,000)	15,000

① 入学者のご父母等は、芝浦工業大学後援会の正会員として、学生の入学と同時に入会していただきます。

② 入会金および会費(2年間分30,000円)の納入は、左の表の通りです。

③ 本学卒業生で、学部入学時に正会員となっていた場合、入会金は免除されます。

※ ()内は本学卒業生以外の方にお支払いいただく金額です。

問い合わせ先：芝浦工業大学 後援会事務局 (校友・後援会連携課内) 03-6722-2910

1 2. 合格後の辞退について

2022年9月末日までに入学辞退届を提出した者については、願い出により入学金を除いた納入金を返還します(入学手続金納入済みの方のみ)。手続きは、本学指定の入学辞退届を記入の上、本学大学院課へ提出いただくことで完了となります。

本学大学院の学則上、入学年度の1年次前期は休学することはできません。そのため、入学直後に学業に従事できないご事情がある場合は、必ず入学辞退の手続きを上記期日までにを行うようお願いいたします。

13. 免責事項

芝浦工業大学では、入学試験の実施に際し、下記のような対応を取ることがありますので、予めご承知置きください。

1) 受験環境について

可能な限り公平・静粛な受験環境の確保に努めますが、やむを得ず以下のような対応を取ることがあります。

- ・ 生活騒音が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。
- ・ 机、椅子、空調、音響設備等の試験教室による違いは一切考慮しません。
- ・ 控室等で他の受験者が迷惑と感じる行為がある場合、退室を指示する場合があります。

2) 不可抗力による事故等について

- ・ 台風、地震等の自然災害または火災、停電、その他不可抗力による事故等や交通機関の乱れが発生した場合は、試験開始時刻の繰り下げなど、対応措置を取ることがあります。ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
- ・ 上記以外の個人的な理由による遅刻や欠席が生じた場合、時間の変更や別日での実施などの対応は一切いたしません。

14. 奨学金情報

①グローバル理工系人材育成大学院給付奨学金（給付）

詳細はグローバル理工系人材育成大学院給付奨学金募集要項をご参照ください。

②日本学生支援機構奨学金（第一種）（貸与、無利子）/日本学生支援機構奨学金（第二種）（貸与、有利子） （留学生対象外）

【学内募集時期（入学時定期採用※秋）】2022年9月下旬～10月頃（詳細が決定しましたら別途お知らせ予定です。）

【採用時期（予定）】2022年12月

奨学金概要や申請条件は JASSO の HP を参照してください→ [大学院に在学中の方 | JASSO](#)

15. 問い合わせ先

入試に関して質問がある場合は、下記までメールでお問い合わせください。

芝浦工業大学 大学院課

Mail: daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

* 連絡する際は、メールのタイトルに「修士・秋入試」の文言を入れてください。

II. 出願資格の認定について（該当者のみ）

本学大学院では、科学技術の進展や社会経済の変化に対応し、研究者および高度専門職業人の養成を果すため、大学を卒業していない者であっても研究能力を有する者については個々人の能力に着目して本大学院への道を開いています。

1. 出願資格審査が必要な場合

出願資格（9）の資格によって出願する場合

2. 出願資格審査の申請方法

(1) 提出書類

提出書類	備考
①出願資格審査申請書	所定様式 (募集要項掲載ページより DL)
②出願資格審査個人調書	所定様式 (募集要項掲載ページより DL)
③最終出身校の卒業証明書または、在籍証明書（原本）	卒業証明書と成績証明書が複合されているものが望ましい。
④最終出身校の成績証明書（原本）	
⑤研究計画書	様式任意
⑥業績要約書、またはこれに代わるもの（卒業研究概要等）	様式任意
⑦「上記⑥」を裏付ける資料・論文など（コピー可）	様式任意

※上記7点以外に本学が必要とする書類が別にある場合、個別にご連絡いたします。

※出願資格審査の申請には、オンライン出願システムは使用しません。

(2) 提出期間

提出期間	受付時間	提出場所
2022年5月6日（金）	～ 16:00	①～⑦をすべてスキャンし、大学院課へメールすること daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

注) ⑦が冊子や本のためにスキャンできない場合は、その旨を提出時のメールに明記し、5月6日（金）必着で別送してください。

3. 出願資格審査日

出願資格審査日	試験会場・時間	審査結果の発表
2022年5月20日（金）	オンラインで実施 (詳細は後日通知)	2022年6月9日（木）

※ 出願資格審査対象者も指定期間に出願してください（不合格で出願できない場合は検定料をお返しします。）

4. 審査料

審査料はいただきません。ただし、出願資格審査を通過した後に受験していただく本試験においては、本学所定の検定料がかかります。

5. 審査方法

口頭試問（面接）・研究計画書・業績要約書等に基づき審査します。

III. 教育研究分野および教員一覧について

- ・ 備考欄に◎の付いている教員の指導を希望する場合は、その教員が指定する副指導教員を立てる必要がある。事前に教員に相談すること。
- ・ 担当教員からの指導を希望する場合は、担当教員だけでなく、その上に立つ指導教員の計2名から承認を得る必要があるので注意すること。
- ・ 「7. 試験内容について(p.7～)」にて、受験する部門により固有の指示がある場合がある。自身の指導を希望する教員が属する部門が志願者の受験する部門となるため、必ず確認し、その指示に従うこと。
- ・ 教員リストは下記 URL を参照
<https://www.shibaura-it.ac.jp/examinee/graduate/guideline.html>

IV. 在留資格「留学」の取得について(外国籍の者のみ)

芝浦工業大学への入学を許可された外国人学生は、在留資格「留学」を申請することができます。「短期滞在」の在留で大学に在籍することはできませんので、注意してください。

以下のご案内をよく読み、いずれかに該当する方は在留期間更新や在留資格変更、在留資格認定証明書代理申請などの必要な手続きを行ってください。

現在の状況	必要な手続き
① 「留学」の在留資格を有している	必要に応じて在留期間更新許可申請を行ってください。この手続きは、在留期間満了日の3ヶ月前から行うことができます。
② 「短期滞在」の在留資格を有している	原則として、一度国外に出て「留学」の在留資格を申請してください。詳細は、「④在留資格を有していない」を参照してください。
③ 「留学」「短期滞在」以外の在留資格を有している ※「定住者」「家族滞在」など	特に手続きする必要はありませんが、「留学」の在留資格へ変更を希望する場合は、「在留資格変更申請」を行ってください。
④ 在留資格を有していない (在留資格の新規取得)	在留資格を申請するには、まず日本の入国管理局に「在留資格認定証明書(CoE)」を申請する必要があります。芝浦工業大学では、これを本人に代わって代理申請を行います。代理申請後、CoEが入国管理局から芝浦工業大学へ交付されましたら、申請者に郵送します。CoEを受け取った後は、CoEの有効期間内に国籍を有する国または居住国の日本大使館・領事館で「留学」ビザ(査証)を申請し、在留資格を取得してください。

「在留期間更新許可申請」「在留資格変更申請」「在留資格の新規取得」には、芝浦工業大学の押印のある書類が必要です。これらの書類は、入学試験に合格し、入学手続き金を支払った方に対して発行することができます。必要な書類の発行には数日かかります。そのため、下記の案内に従い、事前に連絡をしてください。

■在留手続きに必要な書類の発行申請について

- ① 入学試験に合格後、案内に従って入学手続金を納入してください。
- ② 大学院課<daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp>に、下記の内容でメールを送信してください。
 - 受験番号、氏名
 - 必要な手続き名称（在留期間更新許可申請 or 在留資格変更申請 or 在留資格の新規取得）
 - 在留カードのスキャン画像の添付（在留期間更新許可申請/在留資格変更申請の場合のみ）
- ③ 申請者の入学手続金の振込状況を確認後、芝浦工業大学大学院課が必要な書類を発行します。
受け渡しが可能になる日時と、持参物等をメールで指示しますので、その指示に従って来校してください。

在留手続きには日数がかかる場合があります。各人が責任を持って自身の在留期間を管理し、必要な手続きを取るよう努めてください。

【社会人特別入試選抜】

本大学院は、開かれた大学院として社会の生涯教育の進展に、また、本学大学院の教育・研究活動の活性化の推進に寄与することを期待し、社会人特別入試選抜を実施いたします。

<社会人の範囲、定義について>

- (1) 企業、研究機関、教育機関など社会の第一線において1.5年以上の活躍経歴のある技術者・研究者
- (2) 大学卒業後3年以上を経た者で、再度勉学を志す者

◆在職のまま入学を希望する者の扱い

在職のまま入学を希望する者は、原則として職場の所属長の推薦を受けてください。

※在職社会人の受け入れに関連し、下記の事項を考慮いたします。

- ① 課程修了に必要な単位修得のための履修計画を弾力的に運用し、標準年限（2年）以上（最長在学年数4年）にわたる学位の取得を可能としております。
- ② 企業等における研究もその内容が修士論文に相当していれば研究テーマとして認め、また、学外で研究（勤務先の設備等を利用した研究）を行うことができます。

1. 出願について

1. 専攻名称／募集定員／学位名称

この項目は、前掲の【秋期一般入試】に記載された内容を参照してください。(p.2)

2. 出願資格

前掲の<社会人の範囲、定義について>に合致し、下記の資格要件のいずれかを満たす者

- (1) 学校教育法第83条に定める大学を卒業した者または2022年9月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者（大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者）及び2022年9月末までに学位取得見込の者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2022年9月末までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者及び2022年9月末までに修了見込の者
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者または2022年9月末までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者または2022年9月末までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）及び2022年9月末までにそれに該当する見込みの者
- (8) その他、理工学研究科委員会において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者（注2）

（注1）どの出願資格を満たすか不明な場合は、必ず事前にご相談ください。

(注2) (1)~(7)のいずれの出願資格も満たさない場合は、正式な出願に先んじて「出願資格審査」を受けていただきます。その「出願資格審査」に合格し、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合に、出願資格(8)にて正式に出願することができます。

詳細は「II. 出願資格の認定について (該当者のみ)」のページをご参照ください。

3. 出願の手順

4. 入試日程/時間/実施場所

この項目は、前掲の【秋期一般入試】に記載された内容を参照してください。

5. 入試検定料

入学検定料として、35,000円をお支払いいただきます。納入方法は原則コンビニエンスストア払いまたはクレジットカード払いとなり、それ以外の手段による入金を受け付けることができません。

なお、芝浦工業大学を卒業し、社会人特別入試を受験される方は、入学検定料が15,000円になります。納入方法は別途ご案内いたしますので、出願前に必ず大学院課へメールでお申し出ください。

6. 出願書類一覧

出願書類は下記一覧の通りです。

専攻や部門によっては、別途提出物や準備物を指示する場合があります。専攻からの個別の指示については、次項「7. 試験内容について」に全て記載されていますので、必ず併せてご確認ください。

申請にあたっては、オンライン出願システム「[The Admissions Office \(TAO\)](#)」により行います。使用方法などの詳細は、募集要項掲載ページにアップロードされている【[「The Admissions Office \(TAO\)」使用マニュアル](#)】を参照してください。

■オンライン出願システム受付期間<全専攻共通>

2022年5月2日(月)12:00 ~ 2022年5月31日(火)16:00 (厳守)

※期間外の出願は一切受け付けられません。

※マニュアルをよく読み、上記期間内に全ての入力を済ませ、出願を完了させてください。出願完了前に上記受付期間が終了した場合、手続きの途中であっても、出願は受理されません。(システム上で出願の完了処理ができなくなります)

※全ての情報が入力されていても、出願完了のボタンが押されていない場合、出願は不受理となりますのでご注意ください。

■出願書類一覧（専攻共通）

出願書類 <提出対象者>	形式	提出方法および要件
①入学願書 <全員提出>	TAOへ 直接入力	★TAOの所定フォーム「入学願書」へ直接入力してください。 ・学歴や職歴等、「入学願書」に設けられた欄に記載しきれない場合は、別途様式にまとめてPDF化したものを、TAOの所定フォーム「提出書類」の「その他書類」に提出すること。
②顔写真 <全員提出>	JPG	★TAOの所定フォーム「入学願書」の該当箇所へアップロードしてください。 ・縦4cm*横3cm、出願3ヶ月以内に撮影したカラー写真 (上半身・正面・無帽・枠なし) ・合格者が入学する際の学生証写真としても使用する
③入学検定料 (¥35,000) <全員納入> (※本学卒業生で社会人特別入試受験者は15,000円)	-	★TAOの「受験料支払い」メニューより手続きを行ってください。 ・決済手段はクレジットカード決済またはコンビニエンスストア決済の2種から選択すること。 ・学内の証明書発行機(パピルスメイト)による納入は不可とする。 ・システムへの反映に時間を要することがあるため、 出願日の12:00までに納入を済ませること 。 ・本学卒業生で社会人特別入試を受験する者は15,000円となるため、事前に大学院課にメールで申し出ること。 ※申請料納入にかかる手数料は、納入者のご負担をお願いします。
④成績証明書 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・学士学位を取得(見込み含む)した課程の証明書を提出すること。 編入学者の場合は、編入学前の証明書も提出すること。 ・成績証明書と卒業(修了)証明書が複合となっているものを提出することも可。 この場合、④成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、⑤は空欄でかまわない。
⑤卒業(見込)証明書 <全員提出>	PDF (スキャンデータ)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・学士学位を取得した課程の証明書を提出すること。 ・成績証明書と卒業(修了)証明書が複合となっているものを提出することも可。 この場合、④成績証明書の提出フォームに1部アップロードすれば良く、⑤は空欄でかまわない。 ・「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」による学士学位を授与された者は、学位授与証明書を提出すること。学位授与申請中の場合は、申請受理証明書を提出すること。 ・海外の大学など、卒業証明書と学位取得証明書が分かれている場合は、どちらも提出すること。 ・学士学位の他にいずれかの大学で修士学位をすでに取得している場合は、TAOの所定フォーム「提出書類」の「その他書類」欄にアップロードすること。
⑥志望理由書 <全員提出>	PDF (指定様式あり)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・募集要項掲載ページに掲載している指定様式を使用すること。 ・A4サイズ1枚以内で作成すること。 ・日本語で受験する場合は、日本語で作成すること。
⑦研究計画書 <全員提出>	PDF (指定様式あり)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・募集要項掲載ページに掲載している指定様式を使用すること。 ・A4サイズ2枚以内(図表含む)で作成すること。 ・日本語で受験する場合は、日本語で作成すること。 <応用化学専攻志願者のみ> 卒論研究計画書(研究の背景、目的、意義、今後の研究計画について図表を含めA4用紙2枚にまとめたもの)を作成し、PDFファイルをアップロードすること 募集要項掲載ページに掲載している指定様式を使用すること。
⑧業績要約書 <全員提出>	PDF (指定様式なし)	★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。 ・A4サイズ、自由様式で作成すること。 ・日本語で受験する場合は、日本語で作成すること。
⑨受入内諾書 <全員提出>	TAOへ 直接入力	★TAOの「依頼書類」フォームより手続きしてください。 ・自身が指導を希望している芝浦工業大学大学院の教員を選択し、受入内諾書の作成依頼を送信すること。 ・指導を希望する教員が「担当教員」の場合、「指導教員」「担当教員」両方から受入内諾書を得ること。(計2件作成依頼を送信すること) ・オンライン出願システム受付期間に作成が終了するよう、日数に余裕を持って依頼すること。

提出書類一覧は次のページにも続きます。

出願書類 ＜提出対象者＞	形式	提出方法および要件
⑩推薦状 ＜全員提出＞	TAOへ 直接入力	<p>★TAOの「依頼書類」フォームより手続きしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・推薦者のメールアドレスを入力し、推薦状の作成依頼を送信すること。 ・推薦者は、出身大学の指導教員や、勤務先の上長など、出願者のことを熟知する者とする。 ・オンライン出願システム受付期間に作成が終了するよう、日数に余裕を持って依頼すること。
⑪英語テストの スコアレポート ＜全員提出＞	PDF (スキャンデータ)	<p>★公式スコアレポートのスキャンデータを「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、芝浦工業大学に研究生/科目等履修生/特別聴講生として所属している者も、当書類の提出が必要となるので注意すること。 ・TOEIC® L&R, TOEIC® S&W, TOEFL® iBT, IELTS Academic, GTEC (社会人・大学生向け/4技能)のいずれかのスコアを提出すること。 ・公式に発行されるスコアレポートのスキャンデータを提出すること。 (PC画面のスクリーンショット等は不可) ・IPテストのスコアを使用することはできない。(芝浦工業大学で受験したもののみ受付可) ・外部で受けたスコアは過去5年以内に限る。 <p>＜芝浦工業大学正規在学学生のみ＞</p> <p>※芝浦工業大学正規在学学生については、S*gsot Portfolioに登録されたTOEICスコアの最高点を抽出して使用するため、TAOを利用したスコアの提出は不要です。S*gsot Portfolioに自身のTOEICスコアが登録されていることを、オンライン出願システム受付期間が終了するまでに必ず確認してください。スコアの登録が1件もない場合、出願を受理することができません。</p>
⑫在留カードおよび パスポートのコピー ＜日本国籍以外の者のみ＞	PDF (スキャンデータ)	<p>★TAOの所定フォーム「提出書類」の該当箇所へアップロードしてください。</p> <p>＜パスポート＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔写真が印刷されたページのスキャンデータを提出すること。 <p>＜在留カード＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両面のスキャンデータを提出すること。
⑬確認事項チェック表 ＜全員提出＞	TAOへ 直接入力	<p>★TAOの所定フォーム「確認事項チェック表」へ直接入力してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該フォームに表示される確認事項を読み、同意のチェックマークをつけて提出すること。

※アップロードにより提出する書類については、すべて原本の提出は不要ですが、状況に応じて入学時に原本での提出を求める場合があります。あらかじめご承知置きください。

《注意》

- ・ 出願内容に不備があった場合は、出願が受理されないことがあります。
 - ・ **記述言語の指示があるもの以外の書類は、「日本語」または「英語」で記述されたもの以外は一切受け付けません（推薦状含む）。**その他の言語で記述された書類しか用意できない場合は、公証を受けた翻訳を用意し、原語のものと一緒にTAOへアップロードしてください。
 - ・ 一度提出された書類の修正や差替については一切対応いたしません。
 - ・ 出願後は、出願内容（入学年月、専攻、指導教員等）の変更は一切できかねます。
- 出願の際に提出した書類・資料、提供した情報等に偽造・虚偽記載・剽窃等があった場合は、不正行為とみなし、入学試験の結果を無効とすることがあります。なお、その場合も提出された書類・資料等および入学検定料は返還しません。

7. 試験内容について

専攻ごとの試験形式・内容は下記の通りです。

システム理工学専攻、建築学専攻は、さらに部門によって指示があります。自身がどの部門に該当するかは、「Ⅲ. 教育研究分野および教員一覧について」に掲載されている教員一覧において、自身が指導を希望する教員が属する部門によ

り決まります。

■電気電子情報工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（15分）と質疑応答（10分）の計25分で行います。
準備物	プレゼンテーション資料を作成し、口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。
出題内容	プレゼンテーションは、下記の内容を説明すること。 (1) 大学院進学を志望する理由：3分程度 (2) 卒業研究の内容：9分程度 (3) 進学後の研究計画：3分程度 なお、卒業研究を実施していない場合は、進学後の研究実施能力を示すことができる内容とすること。 また、研究計画には、先行研究に関する文献や論文などの調査結果を含むこと。
その他	なし

■材料工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（10分）の計15分で行います。
準備物	プレゼンテーションでは、「志望動機」「卒業研究の内容」「進学後の研究計画」の3点について説明すること。パワーポイント等によるプレゼンテーションを希望する場合は、準備しておくこと。
出題内容	上記のプレゼンテーションに対する質疑を行う。
その他	なし

■応用化学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、パワーポイントを用いる口頭発表（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行ないます。
準備物	卒論研究に関する研究結果を中心にパワーポイントを作成し、(枚数は自由、発表が5分以内に収まるように作成)口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。
出題内容	卒論研究に関する結果・考察を中心としたパワーポイント発表5分。研究の背景を中心とした基礎学力を問う質問、および研究内容や志望動機に関する質疑応答15分。合計20分。
その他	

■機械工学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション(5分)、質疑応答(7分)の計12分で行います。
準備物	下記出題内容についてパワーポイントによるプレゼンテーションを作成し、口述試験時に画面共有にて発表できるように準備しておくこと。 進学については、配属を希望する研究室の指導教員と事前に相談しておくことが望ましい。
出題内容	「志望動機」「卒業研究の内容」「進学後の研究計画」についてプレゼンテーション形式で説明すること。 コミュニケーション能力・マネジメント能力および工学倫理に関する意識も評価するので、プレゼンテーションにはこれらに関連する内容も含めること。 質疑応答では、専門分野について研究基礎力・専門知識を問う質問をする場合がある。
その他	特になし

■システム理工学専攻

口述試験 実施形式	パワーポイント等によるプレゼンテーション（5分）と質疑応答（10分）の計15分で行う。
準備物	進学希望の研究室の教員から指示があった場合のみ準備する。
出題内容	<p>【機械制御部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「進学後の研究計画」をテーマとする。パワーポイントに「大学院での週のスケジュール案」（何時から何時までで大学で研究する）も入れること。</p> <p>【電子情報部門】 プレゼンテーションは「総合研究についてのこれまでの成果」「今後の研究計画」をテーマとする。プレゼンと質疑応答により、研究基礎力、専門能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を評価する。</p> <p>【社会・環境部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「現在取り組んでいる研究の内容」「進学後の研究計画」をテーマに実施し、質疑応答を含めて本人の大学院への適性を客観的に評価する。</p> <p>【生命科学部門】 プレゼンテーションは「志望動機」「現在取り組んでいる研究の内容」「進学後の研究計画」をテーマに実施し、質疑応答を含めて本人の大学院への適性を客観的に評価する。</p> <p>【数理科学部門】 プレゼンテーションは、「志望動機」「現在勉強・研究している数理科学の内容」「進学後の研究計画」「修了後の展望」をテーマとする。質疑応答は、発表内容の理解度の確認を中心に行う。</p>
その他	・口述試験は、海外出張中や留学中の教員の研究室に所属する学生に対しては、できるだけ現地との時差を考慮した時間帯に行う。

■社会基盤学専攻

口述試験 実施形式	口述試験は、プレゼンテーション（10分）と質疑応答（10分）の計20分で行います。
準備物	プレゼンテーションは、パワーポイントを使用して実施します。
出題内容	プレゼンテーションでは、卒業論文の研究内容および修士論文の研究計画について説明してください。
その他	なし

■建築学専攻

<p>口述試験 実施形式</p>	<p>建築学専攻では、7部門を下記の6つの入試区分に分けて、口述試験を実施します。各入試区分の実施形式は次の通りです。</p> <p>【1.建築計画部門、建築史部門】 口述試験は、プレゼンテーション（7分）と質疑応答（13分）の計20分で行います。</p> <p>【2.建築設計部門】 口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。</p> <p>【3.環境工学部門】 口述試験は、プレゼンテーション（10分）と質疑応答（10分）の計20分で行います。</p> <p>【4.建築構造部門】 口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。</p> <p>【5.生産工学部門】 口述試験は、プレゼンテーション（8分）と質疑応答（12分）の計20分で行います。</p> <p>【6.都市計画部門】 口述試験は、プレゼンテーション（5分）と質疑応答（15分）の計20分で行います。</p>
<p>準備物</p>	<p>【1.建築計画部門、建築史部門】 6月20日（月） - 6月26日（日）に、自身の卒業研究の内容をまとめた説明資料1部をPDF(10MB以下)の形式にして、以下のメールアドレスに提出してください。提出するPDFのファイル名は、「説明資料（建築計画部門、建築史部門）受験番号氏名」としてください。 提出先メールアドレス：gs-kentiku-office@sic.shibaura-it.ac.jp</p> <p>【2.建築設計部門】 指導を希望する教員と事前面談する際、本大学院指定の志望理由書及び研究計画書に記載したものとポートフォリオ①をインターネット・オンラインの画面でお示しください。口述試験ではポートフォリオ②をインターネット・オンラインの画面でお示しください。 ポートフォリオ①（PDF10MB以内）事前面談用。書式自由（2作品以上掲載のこと）。 ポートフォリオ②（PDF10MB以内）口述試験用。A3片面10枚以内（2作品以上掲載のこと）。</p> <p>【3.環境工学部門】 口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。卒業研究概要資料（書式は自由）およびプレゼンテーション用データを希望指導教員へ事前に提出してください。提出期日は指導教員の指示に従ってください。</p> <p>【4.建築構造部門】 口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。口述試験当日までにプレゼンテーション用データを用意してください。具体的な実施方法は後日指示します。</p> <p>【5.生産工学部門】 事前面談の際に持参する書類については、教員から指示します。 口述試験はパワーポイントを用いてオンラインで行います。口述試験当日までにプレゼンテーション用データを用意して下さい。</p> <p>【6.都市計画部門】 事前面談の際に準備しておくべき書類については、指導を希望する教員から指示します。口述試験時のプレゼンテーションは、パワーポイントを使用して実施します。当該データを口述試験前日の昼12時までに、電子メールもしくはオンラインストレージ等を用いて、指導を希望する教員へ送付してお</p>

	くこと。また受験者は、口述試験時に自分のパソコン上でファイルを開いておくこと。
出題内容	<p>口述試験では、試問、プレゼンテーションおよび質疑応答をもとに、研究基礎力、専門能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、マネジメント能力を評価します。</p> <p>【1.建築計画部門、建築史部門】 口述試験では志望理由書、研究計画書、卒業研究に関する説明資料の概要を説明いただき、質疑応答を行います。</p> <p>【2.建築設計部門】 プレゼンテーションは、志望理由書、研究計画書、ポートフォリオ②に関して行い、それに対する質疑応答を行います。</p> <p>【3.環境工学部門】 志望理由、卒業研究、修士研究計画に関してプレゼンテーションを実施します。その後、特に卒業研究の成果や修士研究の計画内容について質疑応答を行います。加えて、環境工学分野における一般常識に関する質疑応答を行います。</p> <p>【4.建築構造部門】 プレゼンテーションでは、志望理由、修士論文での研究計画、卒業研究について説明してください。上記内容及び、建築構造分野における一般常識に関する質疑応答を行います。</p> <p>【5.生産工学部門】 プレゼンテーションでは、以下の内容について説明して下さい。 ・卒業研究の研究内容：研究の背景・目的、研究の手法、研究成果と今後の課題 ・修士研究の研究計画：卒業研究からの発展・違い（卒業研究と異なる場合は研究の概要） 卒業研究および修士研究の研究内容・計画および関連する内容について質疑応答を行います。</p> <p>【6.都市計画部門】 プレゼンテーションでは、志望理由、卒業論文（または卒業設計）の内容、および修士論文の研究計画について説明してください。上記内容及び、都市計画分野における基礎知識を問う質疑応答を行います。</p>
その他	<p>志願者は出願前に、指導を希望する教員にメールでアポイントメントを取り、受験・研究内容等の相談（事前面談）をして、当該教員から出願に対する承認をもらう必要があります。入試区分によって、事前面談時、口述試験時に持参するものが異なりますので、十分に注意してください。</p> <p>【1.建築計画部門、建築史部門】 なし</p> <p>【2.建築設計部門】 第1希望の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する15日前までに、インターネット・オンライ</p>

ンで行ってください。第1希望の教員との事前面談を、出願受付期間が終了する15日前までに完了しないと、当該教員から出願に対する承認をもらえない場合があります。願書には、指導を希望する教員を1名だけ記入してください。口述試験で示すポートフォリオ②は、事前面談で受けた質疑や指摘を反映し、ポートフォリオ①の内容に修正を加えたものとしてください。

【3.環境工学部門】

指導を希望する第1及び第2希望（第2希望がある場合のみ）の教員と事前面談を行う際、本大学院指定様式の志望理由書と研究計画書、および卒業研究概要資料を準備してください。

【4.建築構造部門】

指導を希望する教員との事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。

【5.生産工学部門】

指導を希望する教員との事前面談に持参する書類については、当該教員から指示します。

【6.都市計画部門】

指導を希望する第1及び第2希望（第2希望がある場合のみ）の教員との事前面談を、**出願受付期間が終了する15日前まで**に、対面またはオンラインで行ってください。事前面談を出願受付期間が終了する15日前までに完了しないと、当該教員から出願に対する承認をもらえない場合があります。

事前面談の際に準備しておくべき書類については、指導を希望する教員から指示します。

8. 受験番号について

9. 合格発表

10. 入学手続き

11. 学費等について

12. 合格後の辞退について

13. 免責事項

14. 奨学金情報

ここまでの項目は、前掲の【秋期一般入試】に記載された内容を参照してください。

15. 問い合わせ先

入試に関して質問がある場合は、下記まで**メール**でお問い合わせください。

芝浦工業大学 大学院課

Mail: daigakuin@ow.shibaura-it.ac.jp

* 連絡する際は、メールのタイトルに「修士・社会人特別入試」の文言を入れてください。